



埼玉県杉戸町議会
平成31年2月1日発行



にぎわった「しあわせすぎマルシェ」(流灯ふれあい館・中央公民館脇ゲートボール場):12月9日開催

こんにちは 杉戸議会です

2018(平成30年)
12月議会

条例・指定管理	P 2
補正予算・人事	P 4
町政を問う(一般質問に12人登壇)	P 6
意見書	P19
所管事務調査・議員研修会	P20
議会を傍聴して・編集後記	P22

アグリパークゆめすぎと・育苗施設 指定管理者決まる!!

平成31年度から平成35年度まで

アグリパークゆめすぎとは「有限会社アグリパークゆめすぎと」に、
育苗施設は「埼玉みずほ農業協同組合」に委託を継続



アグリパークゆめすぎと・育苗施設は、指定管理制度を採用しています。今年度で5年間の指定管理者との契約期間が満了することから平成31年度からの次期5年間の指定管理者について審議をしました。その結果、現在と同じく、アグリパークゆめすぎとは「有限会社アグリパークゆめすぎと」に、育苗施設は「埼玉みずほ農業協同組合」と引き続き指定管理者委託契約をすることになりました。

主な質疑

アグリパーク

問 ここ13年間、（公募ではなく）随意指定をしてきたが、指定管理者制度本来の趣旨や原則からいってこのやり方を町はどう判断しているのか。

答 特別な理由があれば公募によらず随意指定できるという規定があること、また有限会社が現在に至るまで順調に運営しているという実績やその会社の性質から随意指定を行うことにしました。

問 計画では平成35年の税引き後純利益は約705万円となっているが、入場者や売り上げ減が続

問 計画では平成35年の税引き後純利益は約705万円となっているが、入場者や売り上げ減が続

全員賛成で可決

いている現状で、その計画を達成することができると考えているのか。

答 町内利用者や町内の循環を活性化することで達成することができると考えています。

問 指定管理委託料はこれまで通りかからないと考えてよいのか。

答 今までの経験から町からの補助がなくできると考えます。

問 5年前の説明では今年度までの5年間で修繕料が1660万円とあったが、現状ではどうなるのか。

答 約1100万円を見込んでいます。修繕の一例としては、本館棟の和室、食堂のフライヤー、トイレの修繕などです。

問 今後5年間の修繕料は。

答 開園20年を迎え、老朽化が進むので年間500万円程度を見込んでいます。

問 有限会社との修繕料の取り決めは。

答 今まで同様、基本的には100万円未満の修繕は有限会社の負担、それ以上については協議していきたいです。しかし、用途や施設によっては町の負担を考えていかなければならないと思います。

問 今後5年でトイレの修繕にどう取り組むのか。

答 便器の交換や便器を洋式化します。浄化槽の修繕については1億5千万円かかる見込みなので、町の政策判断になると考えます。

育苗施設

問 計画では平成35年度で627万円の利益を出せる計画になっているが、どう評価するのか。また、利用料金の改定は行われるのか。

答 「彩のかがやき」などに移行していること、単価の高い硬化苗の需要増により収益の増が見込めます。また、料金の改定は予定していません。

問 今後5年間での大規模改修や修繕は。

答 平成34年度にビニルハウスの張替えをJAみずほで行う予定です。

障がい者生活介護施設「デイケアかわせみ」の指定管理者決定

9月定例会で平成31年4月より「デイケアかわせみ」に指定管理者制度を導入することを決定しました。
議決後、管理者の公募を行いました。現在委託をしている「杉風会」が指定管理候補者となり、今議会での指定について審議をしました。

主な質疑

問 公募をしたが1団体しか応募がなかったが、なぜか。

していないのか。

答 利用者が増えれば運営が可能だと見込まれます。

問 近隣市町で生活介護事業を運営する民間事業者に対し、案内の文書を送付しましたが、結果として1団体しかありませんでした。

問 3年間町から支援するが（上限300万円／年）、それ以降は支援は必要なのか。

問 送迎サービスはどうなるのか。

答 4年目以降は利用料金のみで賄ってもいい、赤字の補填は考えていません。

答 現時点では平成31年4月からの開始を目指しているが、まだ決定しているものはありません。

問 杉風会が提出した収支計画通りに運営

答 選定の条件として、町からの利用者の受け入れの要請を拒否し



デイケアかわせみ

全員賛成で可決

ないことを明記したので、受け入れが今まで以上に進むものと考えています。

問 指定管理者をどのようにつチェックしていくのか。

答 必要なモニタリングを行い、町としてきちんと関与していきます。

町長・副町長・教育長の給与と議会議員の報酬引き上げ

人事院勧告に基づき、町長・副町長・教育長の給与と議会議員の報酬の期末手当が0.05月分引き上げられます。
6月と12月に支給される手当の割り振りが変更になります。

全員賛成で可決

引き上げ額		
町長	長	4万5,023円
副町長	長	3万8,755円
教育長	長	3万5,535円
議長	長	1万8,400円
副議長	長	1万4,663円
委員	長	1万3,915円
議員	員	1万3,513円

杉戸町職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告に基づき、町職員の給与を改正します。内容としては主に、勤勉手当の0.05月分引き上げ、給料表の改定、そして日直手当を200円増の4,400円とするものです。

全員賛成で可決

主な質疑

問 勤勉手当引き上げによる影響額は。

答 職員一人当たり平均で年額7800円です。この引き上げによる影響額は約237万9千円です。

問 給料表の改定による影響額は。

答 職員一人当たり平均で1万8387円です。この引き上げによる影響額は約570万円です。

国民健康保険税条例の一部改正

この条例では、課税限度額のうち医療分を4万円引き上げ、89万円を93万円にするものとなっています。
これ以上の負担増は認められないという反対討論もありましたが、賛成多数で可決されました。

賛成11反対3で可決

主な質疑

影響額は。

答 改定後は約300万円の調定額の増収となります。

問 今後の改正予定は。

答 国の方針としては、課税限度額の医療分をさらに3万円引き上げる予定と報道されています。

一般会計補正予算(第5号)

今回の補正では、6千422万8千円を追加し、総額を119億5424万3千円とする増額補正となりました。
内容としては、債務負担行為の追加、障害者自立支援給付費などの増額、また放課後児童健全育成事業費補助金の減額となります。

主な質疑

町有財産売却

問 東幼稚園跡地の売却の入札が行われ落札されたが、それが補正予算に計上されていない。その理由は。

より、路面標示の追加などを行うためのものです。

答 補正予算の編成締め切り時点で契約が完了していなかったためです。

交通安全施設整備事業
1022万3千円

問 工事の場所とその内容は。

答 事故が多発している町道Ⅱ級26号線と県道西宝珠花屏風線の交差点に信号機が設置される方針が決まったこと



全員賛成で可決

ディケアかわせみ修繕
72万6千円

問 修繕の理由と工事内容は。

答 指定管理者に引き継ぎする環境を整えるために、更衣室や壁等5か所を修繕する予定です。

放課後児童クラブ
支援員賃金追加
379万3千円

問 この他にも嘱託支援員の報酬が追加されているがその理由は。

答 支援員や嘱託支援員の勤務時間や業務などの実態を確認し、それに合わせた結果、増額となりました。

幼稚園就園奨励費
259万1千円

問 追加の理由は。

答 人数自体は減っていますが、国の補助制度の改正が行われた結果、補助金の額が所得に応じたものとなっております。補助金額が増加しました。

入浴サービス
(訪問入浴事業)

問 補正に至った経緯は。

答 事業者が2社から3社になることが判明したため、公平性確保等の観点から入札することになりました。



幼稚園就園奨励費補助金

年度	決算額
25	27,091,000円
26	34,939,500円
27	34,445,800円
28	30,951,100円
29	30,799,100円
※30	※33,492,000円

※平成30年度は支給見込額

国民健康保険補正予算

今回の補正予算では、3915万円増額補正となりました。

主な質疑

全員賛成で可決

特定健康診査等
事業費委託料

問 400万円減の理由は。

一般被保険者保険税
過誤納還付金

問 追加の理由は。

答 集団検診委託料で2475人と見込んでいましたが、約1600人しか健診しなかったため、875人分の一部400万円を減額しました。

答 被保険者が社会保険に移行した後も、国民健康保険の廃止手続きを怠ったことにより、予備費で対応していましたが、不足する見込みになりました。

小・中学校教室のエアコン設置に5億1228万円

全員賛成で可決

小・中学校 エアコン設置教室数

学校名	普通教室	特別教室
杉戸小	23	5
第三小	10	3
西小	12	2
第二小	14	4
泉小	6	2
高野台小	14	2
杉戸中	25	5
東中	7	4
広島中	12	5
合計	123	32

答 普通教室123、特別教室32で合計155教室です。

答 特別教室でも一部設置しますが、残り79教室あります。

問

主な質疑

設置する教室数は。

問

普通教室は使っている教室にすべて設置されるが、特別教室はどうなるのか。

一般会計補正予算(第6号)は、エアコン設置をすすめるために追加議案として町長から提案され、議会最終日に審議しました。

内容は歳入に、国庫補助金8488万2千円の新規追加、町債4億1690万5千円などを追加しました。歳出に、エアコン設置のための工事費など小学校分で3億2017万1千円、中学校分1億9211万4千円を追加し、補正額は5億1228万5千円になりました。

問 エアコン設置における町の実質的な負担は。

答 実際には補助対象事業費の2倍ほどエアコン設置工事に費用がかかるため、国庫補助金、地方債の元利償還分の60%を交付税参入するとして算出し、全体の実工事費にかかわる町の負担割合は約63%となる見込みです。負担額は3億1700万円になります。

問

7月には稼働出来る見通しはあるのか。

答

9校を数本に分けて発注します。小中

問

9校を一括で発注するのか。また、一斉に稼働することは可能か。

問

どのような工事事業者になるのか。

答

エアコンについてはガスエアコンで設計をすすめました。対象は管工事事業者で、町内ですと15社あります。

答

7月上旬を目標に試験運転が始められることを目指しています。

問

補正予算の国庫補助金額が、136万2千円少ない理由は。

答

町全体の内示額8624万4千円には西幼稚園の空調設置(すでに設置)に関する交付金が含まれており、その分が差額となっています。

問

中央幼稚園の保育棟(建設中)のエアコン設置は、補助の対象にならないのか。

答

補助の申請は行いましたが、内示額に含まれていませんでした。



人事

教育委員会委員

木村 直昭氏
(再任)

町政を問う

12月定例会の一般質問は、11月30日、12月3日、4日に12人の議員が登壇し、福祉、防災、学校・社会教育、子育て、土木、まちづくりなどについて、町の考えをたしました。

質問項目は下記のとおりですが、その一部の質問と答弁を要約してお知らせします。

なお、他の質問内容を知りたい場合には、町議会ホームページの「会議録の検索と閲覧」をご利用下さい。12月定例会の会議録は、2月上旬に掲載予定です。



○伊藤美佐子議員

1. 住民への健康支援対策は
2. 公立図書館でできる知的障がい者への合理的配慮は
3. 公共施設等総合管理計画の方向性は

○原田壽々子議員

1. 介護者を支援する取組は
2. 保育士の確保は
3. 児童虐待の対策は

○濱田章一議員

1. 公共施設の管理は適正か
2. 障がい者福祉は

○須田恒男議員

1. 子育て対策への提言
2. 農地面積拡大策の今後は
3. 小・中学校教職員の勤務実態は

○森山哲夫議員

1. 東海第2原発の再稼働には反対を
2. 可燃ごみ処理の広域化に係る協議は
3. 危険な歩道橋は早急に改善を

○平川忠良議員

1. 泉小学校、東中学校の行く末は
2. イベントの取組の評価は
3. 公共事業の施工時期の平準化対策は

○仁部前崇議員

1. 屏風深輪産業団地の整備状況は

○坪田光治議員

1. 買い物弱者のために移動販売車を
2. 巡回バスに変わる交通手段としてタクシー運賃補助方式を

○阿部啓子議員

1. 図書館の充実は
2. 特別養護老人ホームの新設は
3. 泉地区など人口減少地域への対策は
4. 巡回バスなどの地域公共交通見直しの状況は

○石川敏子議員

1. 子どもの居場所を
2. 学校給食費の無償化を
3. 店舗・住宅リフォーム助成制度の創設を
4. 町道39号線の舗装を

○大橋芳久議員

1. 教育現場におけるユニバーサルデザインの実施は
2. 東武動物公園駅東口通り線の街路灯と商店街の活性化は

○窪田裕之議員

1. 町の活性化策は

公立図書館でできる知的障がい者への合理的配慮は

図書館が利用できるような体制を整えていきます



わかりやすい図書のLLブック



伊藤美佐子 議員

問 知的障がい者への合理的配慮となるマルチメディアデジの整備やLLブック等の所蔵状況は。

答 社会教育課長 マルチメディアデジは利用環境を整備し、LLブックは今年度予算の中で購入を考えています。

問 知的障がい者の読書や図書館利用の促進を図るため休館日を利用し、体験ツアーの実施はできないか。

答 社会教育課長 先進事例を参考に調査研究します。

住民への健康支援対策は

問 ①不妊症検査費助成策
②高齢者肺炎球菌ワクチン

定期接種③風疹の流行拡大に対する今後の各対策は。

答 健康支援課長 ①県の事業内容に沿って、来年度当初からの実施を考えています。②定期接種者の費用負担の軽減に努めます。③国の定期予防接種化等慎重に判断していきます。

公共施設等総合管理計画は

問 旧杉戸小跡地の計画は
答 都市施設整備課長 年内に委託事業者を決定し、来年度7月頃、方向性を示せるよう検討を進めます。

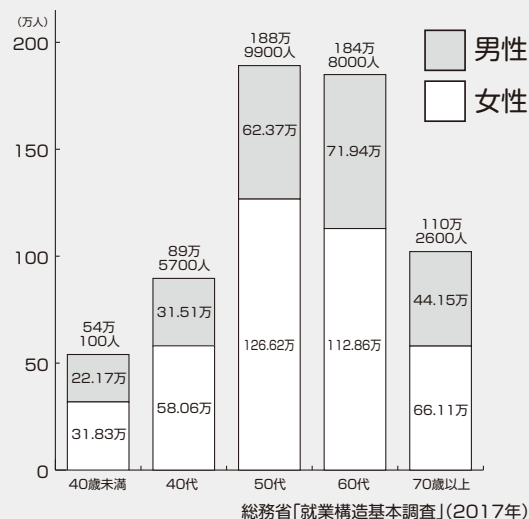
問 役場庁舎は災害時対策本部の機能は果せるのか。

答 財産管理課長 将来的には庁舎計画を策定し、本庁舎の改築および他の公共施設との集約・複合化を検討し、平成32年度までに個別施設計画を策定予定です。

介護者（ケアラー）の精神的な支援対策は

一歩進んだ新たな視点での支援に努めます

介護している者の就業状態は？



働きながら介護している人は50代が最多



原田 壽々子 議員

問 特別養護老人ホームの入所基準の制限、サービス自己負担額の上限の引き上げなど、国が施設介護から在宅介護にシフトしている中、介護者（ケアラー）は晩婚晩産を背景に30代～50代に集中し、その対策は地域に委ねられているのが現状だが町の取組は。

答 高齢介護課長 未着手の部分もありますが、地域包括支援センターでしっかりと支援していきます。

問 介護のために働き盛りの男女の離職率は増加している。軽視できない問題だが、離職理由の上位は何か。

答 高齢介護課長 介護者自身の心身の健康状態の悪化が上位となっております。

問 ダブルケアラー問題、介護離職防止策としてケアラー実態調査をすべきでは。

答 高齢介護課長 平成31年度在宅介護実態調査の中で、ダブルケアラーの把握ができるよう検討します。

問 日本ケアラー連盟によると既に5人に1人がケアラーで、要介護者よりケアラー側が社会的にも孤立し精神的にも疲弊していく今、地域コミュニティの場であるケアラースカフェが注目されている。地域包括支援センターの中にケアラーセンターを配置しては。

答 町長 さらに一歩進んだ新たな視点での介護者の支援に努めます。

公共施設の管理は適正か

個別施設計画に基づき計画的に進めます



築50年以上の杉戸中学校



濱田章一 議員

問 町の公共施設の老朽化割合は、建設後30年以上経過している施設が全体建物延べ床面積の67.6%を占めている。今後、施設の大規模修繕や建て替えを進めていく必要があると思われるが、古い施設から順番に改修等を進めていくのか。

答 財産管理課長 公共施設等総合管理計画では、計画的な修繕等を行うことで原則長寿命化を図り、可能な限り施設の縮減を進める方針です。現在計画的な改修等を実施するため、個別施設計画を平成32年度の策定を目標に進めています。

今後の施設改修等は、建設経過年数に応じて実施するのではなく、長期的な視点を持って計画的に進めます。なお、施設機能の維持、また安全性の確保の観点から必要な補修等は適宜実施し、適切な施設管理を行います。

問 文部科学省の長寿命化改良事業では、小中学校の施設が国庫補助の対象となるが、活用する考えは。

答 教育次長 活用にはいくつかの条件があり、そのうちの劣化状況調査を来年度以降に学校施設ごとの実施を考えています。そのため、現段階での長寿命化改良事業の活用実施は難しいことから、個別施設ごとの長寿命化計画を策定した後に、検討をしていきます。

西幼稚園改築は保育園との併設を

選択肢の一つと考えています



須田恒男 議員



改築がまたれる西幼稚園

問 平成31年度の幼稚園・保育園の入園希望者数は。

答 子育て支援課長 中央幼稚園88名、西幼稚園62名、すぎと幼稚園147名です。保育園は、受付中のため把握できていません。

問 教育・保育の無償化導入による入園動向の把握は。

答 子育て支援課長 無償化は来年10月にスタートします。影響は次の年度になると考えており、現段階では、情報も少なく保護者も決められない状況ではないかと考えています。

問 西幼稚園の改築は。

答 子育て支援課長 今後

の保育需要の推移等を慎重に検討する必要から建設計画は示せませんが、現在、公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の検討を進めており、早期に方向性を示す考えています。

問 西幼稚園改築時に保育園を併合した複合施設建設を進める考えは。

答 子育て支援課長 改築の手法として、一つの選択肢になると考えます。

問 放課後児童クラブへの入所断りは発生しないのか。

答 学校教育課長 児童数は減少している中、利用者が横ばい、増加傾向のクラブもありますが、現在も定員を超える形で、子どもの安心・安全な保育環境の確保を前提に受け入れを行っています。

東海第2原発の再稼働には反対を

再稼働するかどうかは、国の判断



住宅密集地に建つ東海第2原発



森山 哲夫 議員

問 東海第2原発で原子力災害が発生した場合、杉戸町は茨城県水戸市からの避難者を受け入れることになっているが、広域避難に係る水戸市との協定書の締結はいつ頃になる予定か。また、その内容は。

答 **くらし安全課長** 協定書の締結は、12月25日を予定しています。茨城県や水戸市、埼玉県との協議では、水戸市民のうち約4万人を埼玉県東部の11市町で受け入れる予定です。杉戸町としては最大で871人（杉戸小学校に398人、西小学校に263人、高野台小学校に210人）

を受け入れる予定で、受け入れ期間は原則1カ月以内となっています。

問 杉戸町は東海第2原発から100キロ圏内に入っている。福島第1原発事故では100キロ以上離れた地域でも放射能による汚染が広がった。東海第2原発で過酷事故が起きれば、杉戸町をはじめとした関東一帯にも、とりかえしのつかない被害がもたらされることは免れない。こうしたことから、「再稼働に反対し、廃炉を求めていくこと」こそが最大の安全対策と考えるが、古谷町長の見解は。

答 **町長** 東海第2原発を再稼働するか否かの判断は、国の責任であると考えています。

泉小学校・東中学校の行く末は

将来を見据え、地域住民と慎重に検討



平川 忠良 議員



今年、50周年を迎えた泉小学校の今後は？

問 泉小学校は来年3月に6年生2クラスが卒業すると全学年1クラスとなる。今年は1年生が25人入学したが、この児童が5年生となる5年後には新入生は8人となる話があった。東中学校を含め、この現実をどうとらえ、どう取り組んでいくのか。教育委員会の見解は。

答 教育次長 今年度は、杉戸町立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針の策定に向けて事務を進めています。これは通学区の見直しや学校の統廃合の基準となるものです。

問 平成34年度は新入学生が9人と予想されているが、授業や行事等の取組は。

答 学校教育課長 授業は教科によって他学年との合同学習や音楽、体育等での複数学年による実施、行事は町内小学校との合同実施などを検討する必要があります。

問 伊藤教育長の見解は。

答 教育長 子どもたちのために多くの課題をどのようにに解決していくべきかの道筋を考え、丁寧に対話を重ね課題解決に取り組むことが私の責務です。学区再編、学校再編は町や教育委員会が独断で進めるものではなく、保護者や地域住民に見通し等を説明し、十分話し合い、合意形成を図っていく必要があります。

屏風深輪フットサルパークに照明設備を

設置による利用率の大幅増を視野に検討します



夜間の利用も望まれる屏風深輪フットサルパーク



仁部前崇 議員

問 屏風深輪フットサルパークの利用状況は。

答 都市施設整備課長 供用開始から一年が経過し、平日の利用は少なく、土日に利用が集中している状況です。

問 照明設備を設置し、利用者の増加を図る考えは。

答 都市施設整備課長 夜間の利用を可能にすることで、さらなる利用者の増加につながると考えています。利用者からの設置要望も多くあり、設置に向け補助金等の活用も視野に入れた検討をしていきます。

問 フットサルパークおよ

びスケートボードエリアにエコ・スポいずみの利用案内の看板を設置しては。

答 都市施設整備課長 それなりの効果やメリットが考えられるので、早期に対応します。

問 エコ・スポいずみとの連携でフットサルパーク利用者増を図っては。

答 都市施設整備課長 フットサルパークに更衣室やシャワー設備等がないことから、連携することで各々の施設の利用促進や利用者にとつてのメリットもあると考えます。連携にあたっては、双方で維持管理体制の連携強化等の課題も多くあることから、今後関係機関と連携しながら検討します。

買い物弱者のために移動販売車を

地域住民と一緒に研究していきたい



商品を手に取り会話も楽しめる



坪田光治 議員

今後は地域住民の主体性を尊重し支援していきます。

問 移動販売車は全国的に事例があり、最近は運営主体としてコンビニやスーパーなどの民間業者も参入してきている。町でも協力をお願いしてはどうか。

答 高齢介護課長 事例を参考に研究します。

**新たな交通手段として
タクシー運賃補助方式を**

問 初期費用がかからず、停留所が遠いなど不公平もなく且つ巡回バスやデマンド交通の使い勝手の悪さも解消できる「タクシー運賃補助方式」を考えてみては。
答 住民協働課長 まずは巡回バスを継続し、補完的な用途でのタクシー運賃補助等の必要性を把握していきます。

問 高齢化に伴い足腰が弱まり、徒歩や自転車で買い物することが難しくなる、いわゆる「買い物弱者」が今後町でも増える予想される。そこで買い物機会の提供はもちろんのこと、コミュニティションの場として移動販売車による移動販売を考えられないか。

答 高齢介護課長 木野川地区ではスーパーの閉店に伴い平成27年夏頃から移動販売による野菜や果物の販売を実施しましたが、利用者の減少などにより平成29年12月に終了しました。移動販売の難しさを痛感し、

次期公共交通・巡回バスの見直しは

課題は長時間運行と帰りのバスがないことです



もっとニーズに合ったバスに



阿部啓子 議員

問 巡回バスなど地域公共交通の見直しの状況は。

答 住民協働課長 見直しの課題は、1コース当たりの乗車時間が1時間50分と長時間かかること、一方向運行の影響により帰りのバスがないことの2点で、進捗状況は、複数ある見直し案を絞り込んでいます。

今後のスケジュールは、平成30年度中に次期公共交通の概要を示し、平成31年度にかけてパブリックコメントの意見を参考に確定し、早い段階で地域公共交通会議に諮っていきます。また、施策を検討するための実証

実験は難しく、歩行困難な方などへの制度拡大については、今後研究します。

問 宮代町の便利バスは、1コース50分を2台で往復し、年末年始を除き無休である。しかし、面積が2倍あり鳥の形をした杉戸町では、約倍のバスを出さないと1時間では回れない状況である。1コース1時間で往復のバスにという覚悟で課題解決に臨んでいるのか。

答 町長 検討しています。お待ちいただきたい。

問 実証実験を行って住民がこれで助かると確認していただくのが大事では。

答 住民協働課長 次期の公共交通で滞りなく回れるという形の検証は必要です。今後、方法等について検討を進めます。

子どもの居場所の設置を

新たな施設整備は考えていません



子育て支援の拠点施設を（元内田保育園）



石川 敏子 議員

問 18歳までの子どもの居場所として児童館がある。新たに子育て支援の拠点施設をつくる考えは。

答 子育て支援課長 町には子育て支援センターの「たんぽぽ」や「ひまわり」があり、保健センター内に「子育て世代包括支援センター」を今年度開設しました。今後は子育て支援センターと保健センターの連携を図りながらそれぞれの充実に努め、新たな施設整備は考えていません。

問 町には児童館が泉地区にしかないが、町の子育ての拠点施設はどこなのか。

答 子育て支援課長 機能が集中できる拠点施設は必要があると感じていますが、ハード整備をするには課題が多く、現有施設を有効に活用するのが、現段階では一番よいと考えます。

問 子どもの施設を3か所売却して1億円以上の収入となっている。子育て支援のために活用するべきではないか。

答 町長 町全体をみて1億円どころまでできるのでしょうか。施設をつくればいいと言いますが、職員体制等いろいろな経費がかかるのです。ただ、言うだけでは責任がないと思います。売却してその基金をいろいろなものに振り分けていくうと思っていますのでご理解願います。

駅前通りの故障している街路灯の今後は

所有者、商工会、行政で研究していきます



賑わいのあるまちづくりを



大橋 芳久 議員

問 東口通り線に防犯灯が3基設置されたが、今後増設する考えは。

答 くらし安全課長 一定の照度は確保されていると認識しています。

問 東口通り線の拡幅には商業の活性化も必要である。まち・道づくり協議会と商工観光課・商工会が連携すべきでは。

答 東口通り線整備推進室長 今後町の活性化のために、東口通り線を核としたまちづくりを検討する必要があると考えます。

問 現在、街路灯は個人所有となっているが、6月議

会で町長も個人の管理には限界があるという認識を示した。その後の対応は。

答 商工観光課長 積極的に直していただくよう各商店にお願いをしています。

問 持ち主不明の街路灯が破損して人がけがをした場合、町に管理責任は問われないのか。

答 商工観光課長 街路灯の管理については各商店で行う約束で設置しています。

問 「商工会を通して」という答弁が多いが、商工会任せの印象を受ける。商工会を通すのではなく、協働して行動する必要があるのではないか。

答 町長 担当課もいろいろな形の中で、前向きに実施していくと思います。ご理解願います。

伝統的行事や文化財の支援は

保存の継続のため現状を把握していきます



窪田 裕之 議員



茨島のお囃子

問 最近町では各種イベントやお祭りが増えてきており、その一方で町内各地域にあった伝統的な行事が徐々に衰退してきている。それらの中には有形・無形文化財を含むものや、文化的な価値、あるいは芸術的な価値、歴史的な価値があるものもあるが、その支援は

答 社会教育課長 町指定の文化財は現在25件ありますが、無形民俗文化財になっている大塚地区の神楽と茨島地区の神楽・お囃子の各保存団体に対しては、活動支援のため補助金を交付しています。

問 古くからある貴重な歴史的遺産を守りつつ、新しいイベントやお祭りを行っていくのが本来の順序である。開宿400年事業を行って、歴史ある宿場町という点が当町のアピールポイントになっていることから、伝統的行事を支援していくことが必要ではないか。

答 社会教育課長 地域の伝統行事等を維持継続していくことは地域の人々をつなぎ、地域社会を形成する一翼を担うものであると理解しています。十分な金額ではありませんが、今後重要な文化財については保存していくために指定していることから、後継者不足の問題を含め支援の在り方について現状を把握していきます。

臓器移植の環境整備を求める意見書

全員賛成で可決し、国に提出

臓器移植の普及によって薬剤や機械では困難であった臓器の機能回復が可能となり、多くの患者の命が救われている。

一方、臓器移植ネットワークが構築されていない外国における移植は臓器売買等の懸念を生じさせ、人権上ゆゆしき問題となっている。

そこで、国際移植学会は、平成20年5月に「各国は、自国民の移植ニーズに足る臓器を自国のドナーによって確保する努力をすべきだ」とする主旨の「臓器取引と移植ツーリズムに関するイスタンブール宣言」を行った。こうした動きが我が国における平成22年7月の臓器の移植に関する法律の改正につながり、本人の意思が不明な場合であっても家族の承諾により臓器を提供することが可能となった。同法の改正以後、脳死下での臓器提供者は年々増加しており、平成28年の臓器提供者数は64人、平成29年の臓器

提供者数は77人となっている。

しかし、平成30年5月31日時点における臓器移植希望者数が、心臓で684人、肺で325人、肝臓で313人、腎臓で11、931人、脾臓で206人（日本臓器移植ネットワーク）となっているなど、心停止後のものを含めても臓器提供数が必要数を大きく下回っており、その理由としてドナーや臓器提供施設数が少ないことが指摘されている。よって、国においては、国民の臓器を提供する権利、臓器を提供しない権利、移植を受ける権利及び移植を受けない権利を同等に尊重しつつ、臓器移植を国民にとって安全で身近なものとして定着させるため、下記の事項に取り組むよう強く要望する。

記

1 国民が命の大切さを考える中で臓器移植にかかる意思表示について具体的に考え、家族などと話し合う機会を

増やすことができるよう臓器移植に係る更なる啓発に努めること。

2 臓器提供施設における院内体制の整備を図るため、マニュアルの整備、研修会の開催など個々の施設の事情に応じたきめ細かい支援を行うこと。

3 臓器移植についてのアフターケアまで、ドナーの家族に対してきめ細かな対応が可能となるよう移植コーディネーターの確保を支援すること。

4 臓器摘出手術から移送までを担う臓器移植施設の担当医について負担軽減対策を講ずること。

5 国民が臓器移植ネットワークの構築されていない国において臓器移植を受けることのないよう必要な対策を講ずること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

「東海第2原子力発電所の再稼働は行わないこと」を求める意見書

全員賛成で可決し、国に提出

東海第2原子力発電所は、運転開始から40年が経過した全国一トラブルの多い原発であり、東日本大震災では津波で外部電源を失っただけでなく、非常用ディーゼル発電機1台も止まってしまい、残りの2台でようやく冷温停止状態にして、かろうじて炉心溶融を免れた被災原発である。

ところが、日本原子力発電株式会社は、この全国一老朽化した原発をさらに20年運転延長させるための申請を行い、原子力規制委員会は11月7日、運転期間の延長を認可した。

福島第1原子力発電所の事故以降、住民の避難計画区域は半径30kmに拡大されたが東海第2原子力発電所の場合、半径30km圏内には96万人もの住民が暮らしており、実効性のある避難計画の策定は難航している。

ひとたび東海第2原子力発電所で過酷事故が発生すれば、広大な地域が放射能で汚染され、関東一帯にも深刻な被害が広がることは免れない。現地からわずか100km圏内にある杉戸町にも、福島第1原子力発電所事故以上の甚大な被害が及ぶことは必至である。

原子炉等規制法にもとづく「40年ルール」は、老朽した原発の事故を防ぐための最低限のルールである。危険な老朽原発の運転延長、再稼働は到底容認できるものではない。

よって、杉戸町議会は、運転開始から40年を超える東海第2原子力発電所については再稼働させずに、速やかに廃炉とするよう強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。



視察 総務建設常任委員会 10月23日～24日

空き家バンクリフォーム補助金・
まちなか定住促進住宅新築等補助金・
多世帯家族住宅新築等補助金について

栃木県／栃木市

- ① 空き家バンク制度の創設について検討する。
 - ② 定住促進や空き家の活用を進めるために、補助制度の活用について検討する。
- 栃木市は住みたい田舎ベストランキング若者世代部門で2年間連続1位になっており、要因の一つである3つの補助制度について栃木市当局より説明を受け意見交換を行いました。調査の結果、委員会の意見は次の通りです。



コンパクトシティについて

長野県／小諸市

- 小諸市当局より『コンパクトシティ』の説明を受け意見交換を行いました。調査の結果、委員会の意見は次の通りです。
- ① 民間の活力の導入や面的集約を進めるなど、持続可能な活力のあるコンパクトシティを検討する。
 - ② 公共機関（デマンドバス・タクシー）のシステム構築を調査研究。
 - ③ 公共交通において国からの補助金や民間業者との話し合いを検討する。



埼玉県町村議会

議員研修会

埼玉県町村議会議員研修会が10月17日、吉見町民会館「フレサよしみ」において開催されました。

『議会改革をめぐる
最近の動向と課題』

講師 江藤 俊昭 氏



視察 教育厚生常任委員会 11月1日～2日

子ども総合支援センター (ニコニコ子ども館)について

福島県／郡山市

- 次代を担う郡山市の子どもたちのため、保健・福祉・教育が一体となつて、総合的な支援を行う拠点施設の設置について経緯等説明を受けました。調査の結果、委員会の意見は次の通りです。
- ① 子育て支援センターに保育士等を配置するなど職員の充実を図ること。
 - ② 杉戸町の現状に合わせた子育て支援拠点施設の設置を目指すこと。



守谷市図書館の充実について

茨城県／守谷市

- 市民協働の図書館づくりによるサービスの充実と指定管理制度導入から直営に戻す経緯など説明を受け意見交換を行いました。調査の結果、委員会の意見は次の通りです。
- ① 魅力ある資料等を整備するため図書館・公民館図書室の資料等購入費を増額すること。
 - ② 専門職である司書を配置し、職員全体のスキルアップを図ること。
 - ③ 学校図書館や公民館図書室との一体的な連携を図ること。



内容

- ・ 議会の内容を町民にしっかり伝えていくには『住民自治の根幹』として議会を作動させる必要があります。
- ・ 議会と首長が二元制の中で緊張状態を保つためには議員は議決責任を再確認し、しっかり議論をし、論点を明確化することが大事です。
- ・ 議員のなり手不足の解消には、議員報酬の底上げ、兼職・兼業禁止規定の緩和、育児手当等手当の導入、さらには、女性のなり手を増やすために、福祉や環境などの活動をしている女性をどう取り込むかが課題です。
- ・ 議員報酬と定数は別の論理ですが、増減に関しては意見がさまざまなので、議会は議員活動についてもっと知ってもらおう努力が必要です。

議会を傍聴して



堤根在住
小曾根延夫さん

初めて議会を傍聴させていただきました。議員の質問に対し、職員当局の答弁も明確に答えていました。質問の一つに小中学校の環境問題が掲げられていましたが、年々減少する児童をいかに大切にしていかなければという問題は将来の大きな課題だと痛感しました。一例として泉小学校では入学児童が25人、5年後には8人になる予想とのこと、唯々驚くばかりです。人口減少問題として日本の未来を考えると若人に頑張ってもらおうほかありませんね！

各議員には少しでも魅力ある杉戸町になるよう更なる激闘を期待し、町民一人一人も杉戸町が我が楽土になるべく考え、行動・協力をもって前進したいものです。

平成30年 第4回 杉戸町議会定例会 議員別表決結果一覧

議案名		会 派 名		自民クラブ		是 新		日本共産党		公明党		無所属						
		議員氏名		濱田章一	坪田光治	勝岡敏至	窪田裕之	大橋芳久	須田恒男	仁部前崇	原田壽々子	阿部啓子	森山哲夫	石川敏子	平川忠良	伊藤美佐子	宮田利雄	稲葉光男
町長提出議案	杉戸町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	指定管理者の指定について（アグリパークゆめすぎと〔アグリパークゆめすぎと育苗施設を除く。〕）	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	指定管理者の指定について（アグリパークゆめすぎと育苗施設）	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	指定管理者の指定について（杉戸町障がい者生活介護施設デイケアかわせみ）	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	杉戸町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	町長及び副町長の給与等に関する条例及び杉戸町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	杉戸町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成30年度杉戸町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成30年度杉戸町水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成30年度杉戸町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成30年度杉戸町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成30年度杉戸町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成30年度杉戸町介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	杉戸町手数料徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	杉戸町国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	杉戸町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	-
	平成30年度杉戸町一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議員提案	臓器移植の環境整備を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	「東海第2原子力発電所の再稼働は行わないこと」を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

○印…賛成 ×印…反対 欠印…欠席 除印…除斥 退印…退席
※議長は表決に参加しないため、「-」となっています。

12月定例会 傍聴者数

（本会議）

11月	28日	1人
	30日	4人
12月	3日	9人
	4日	13人
	6日	3人
	14日	3人

（委員会）

12月	7日	総務建設 2人
		教育厚生 1人

3月定例会は、
2月14日（木）
開会予定です。

編集後記

平成最後の新年を迎え、いかがお過ごしでしょうか。

12月議会では、小中学校の普通教室へのエアコン設置工事の補正予算が可決しました。暑くなる時期から稼働できるよう望むところです。

2月14日から、新年度の町政の行方を決める予算を審議する3月定例議会が予定されています。ぜひ傍聴にお越しください。

今年は元号が変わりますが、引き続き町民目線でわかりやすく、読みやすい編集に努めていきます。

議会広報や議会活動について、皆様からのご意見・ご要望をお待ちしています。

議会に関するご意見・ご要望はこちらまで ▶ E-mail gikai@town.sugito.lg.jp